

~~122~~

31A

秘 密 文 件 類 別

電

報

四、三、〇、二、九、四、〇、  
二、四、〇、〇、〇、〇、〇、〇、

昭 和 一 九 五 一  
四、三、〇、二、五、〇、〇、〇、  
二、五、〇、〇、〇、〇、〇、  
提 出 附

備 部 隊 參 謀 長

通 電 先 次 長 剛、防 總

備 參 電 第 五 〇 四 號

ハ、ト、ラ、ソ、ク、レ、島、空、襲、状、况

- 第 一 次 五 時 十 分 九 〇 機
- 第 二 次 六 時 四 十 分 六 〇 機
- 第 三 次 九 時 七 〇 機
- 第 四 次 十 時 四 十 分 六 〇 機
- 第 五 次 十 時 四 十 分 七 〇 機
- 第 六 次 十 三 時 三 十 分 一 〇 機
- 第 七 次 十 四 時 十 分 二 〇 機

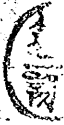
2232

362

現地ニ於テハ敵兵力ハ三群（各郡ハ航空母ニ  
 其ノ他ナシ）数隻ト判断シアリ  
 ニ「メレヨ」九時十分大型機ニ「戦闘機」ニ  
 來襲約一時間ニ亙リ爆撃ス  
 被害輕微ナリ  
 ニ「メレヨ」發進ノ索敵機九時十分同地、  
 「六〇度」西ノ「渚」ニ航空母ヲ含む部隊（航空  
 母）不明其ノ他ナシ数隻ト發見セリ（終）

363

2233



# 極秘

## 電報

昭和一九四五  
五月三十一日  
三三三三  
三三三三  
三五三三  
四三三三  
五三三三  
提本

通電先次長(防總)副照雷第五旅遺隊

備部隊參謀長

父島

備參電第五七號

### 一日空襲状況

一「トラク」島五時三十五分ヨリ十八時十五分

迄六回ニ互リ戰爆延約三六〇來襲

二「ボナバ」島五時五十八分ヨリ「B-1」ニ五型

八 爆撃

三「ヌレヨン」九時三十分ヨリ大型六爆撃

四「モウトロツク」九時四十二分ヨリ大型一

小型、ハ、爆撃子

五「オロウル」 「グリニツチ」 「クリイエ」 島大島島

各大型 一偵察

六「ソロウル」 三十日九時四十五分「B」一四型

二機爆撃子

七「モウトロマル」 八十二時三十分ヨリ十二時

四十分迄戦艦三、巡洋艦二、艦砲射撃

ヲ受ク

(終)

極秘親展

覽報

第一部長宛

備依頼電第二〇號

田村少將ヨリ

備部隊參謀長

昭和一九五五

五三二二〇發五四〇二二三出  
四〇三三九著五〇二二三出

一、パラオ空襲ニユーギニヤ上陸トラツク空襲  
等於ナル實情ニ徴スルニ我ガ劣弱ナル航空敵  
ニ對シ一矢ヲタニ報スルコト能ハズ唯敵ノ來ラ  
サルヲ之頼ミ敵ノ速カトル撤退ヲ願フ状態ナリ

二、遠隔島嶼確保ニハ強カナル航空ノ協力ハ殆  
ト絕對的條件ナリ  
ホナペモラトワツクノレオン等ノ敵若シ逐  
次本格的攻勢ヲ企圖スル限り航空ノ協力ヲ

期待シ得ザル現状ニ於テハ救援ノ途ナク其ノ  
確保ハ殆ド保シ難ク現ニ東「マリヤナ」群島地  
區スラ現航空兵力ヲ以テシテハ本明日ノ本格  
的攻撃ニ對シテハ如何トモシ難キ状態ナリ

三、斯クシテハ「ト」島ハ孤立ニ陥ルベク「バ」  
「マリヤナ」群島地區ハ敵戰爆連合ノ空襲ニ  
暴サレ重心ヲ失ヒタル絕對確保線ハ著シク真  
ノ自由ヲ拘束セラルルニ至ル虞レアリ

四、今「マ」眞ニ海洋決戰ノ秋ナリ  
海洋決戰兵力ハ迅速ナル整備ハ焦眉ノ急ナリ  
從來ノ經緯ヲ一擲シ抜本的措置ノ断ヲ痛感ス  
五、以上ノ現状ニ對スル率直ナル所感ナリ  
十分承知ノコトナルモ敢テ卑見ヲ述ベ参考  
ニ供ス

又右海軍ハ連絡ニテ「マ」付念為

秘親展

備

31A

2237

第 二 課

秘 軍 機

航 空 班

電 報

昭和十九年七月五日  
七四一五三〇發七五〇五四〇受付  
五〇五一一五着七五〇六三〇提出  
備 部 隊 參 謀 長

通 電 先 總 長 (第三十一軍司令官)

備 參 電 第 一 三 四 號

臣 等 微 力 ニ シ テ

陛 下 ノ 股 肱 ヲ 失 シ 而 モ 克 ク 任 務 ヲ 完 ウ シ 得 ザ リ シ

コ ト 深 ク

陛 下 ニ 御 記 ビ 申 上 グ ル ト 共 ニ

陛 下 ノ 股 肱 ハ 善 戦 各 ヲ 死 所 ヲ 得 タ ル ヲ 欣 ビ 非 點 無 事

員 ハ 支 廳 長 ヲ シ テ ガ イ パ ン 島 北 部 ニ 退 避 セ シ 必 要 軍

ハ 最 後 ノ 一 兵 迄 陸 地 ヲ 死 守 至 碎 セ ン ト ス

然 レ ド モ 海 没 部 隊 諸 勤 勞 隊 等 貴 方 ナ キ モ ノ 極 メ テ

368

2238

多數ナリシハ戰闘ヲ妨害セルコト大ニシテ指導上  
最モ苦慮シアル所而モ決戰ニ於テ嚮兵團ノ所ヲ得  
ガリシニアラズセザラ慮カル  
暗號書其ノ他機密書類ハ遺憾ナク處置セリ  
航空機ノ増産活躍ヲ望ミテ止マズ  
軍ノ精否ハ一ニ指揮官ノ如何ニ依ル大隊長以上ノ  
選定ニ留意ヲ望ミ皇軍ノ隆昌ヲ祈リテ  
聖壽ノ萬歳ヲ唱フ

齊藤中將

(終)

皇軍親征



第三〇

極秘軍機

電報

日誌用

通電先 次長、備、譽、柏、  
「メレヨン」、T.Y.H.、電、島

照參電第三三六號

第三十一軍（電誌）司令官（鹿カ）ハ十六日  
ヤフア  
ハカ  
P.P.V.ヨリ  
P.P.V.ヨリ  
P.P.V.ヨリ

セリ

六一六  
I.K.O.C 發  
六一六  
I.K.O.C 受付

昭和一九、六、一六

照部除  
長

370

1188

2240

秘

覽

魚麗先次長 陸

號

外

西部軍空襲警報發令

穀

昭和一九六一年

西部軍參謀長

本天... 探出

西軍

終

0889

2241



機密

電報

次長宛

照部隊參謀長

照依頼電第八二號

瀬島參謀へ? 小幡參謀ヨリ

猛内地向ケ後送重要書類六月三日潜水艦ニ依リ「バラオ」ニ到着セ  
ルモ萬全輸送ノ途ナク今日ニ至ル

速カニ海軍水上機(當地ニ繋留シアリ) 或ハ艦艇ノ歸航(止ムヲ  
得ザレバ「バラオ」一馬尼刺間ハ水艇ニ依ル)等ニ依リ内地還送方  
促進セラレ度

「バラオ」ノ緊迫セル狀況ニ鑑ミ特ニ至急手配方相煩ハシ

(終)

六二八一六三〇發  
六三〇一〇〇〇提出

昭和一九、六、三〇



軍事極秘

至  
作戰緊急電報

昭和一九四一  
九一七五  
六〇發九一七  
二六三〇提  
照部隊參謀長

通電先、次長威(三K F、輝真)

照參電第二六一號

十七日「バラオ」ノ狀況 第一報

一、「アングウル」島ハ十二日以來「ベリリ」ト共ニ敵ノ艦  
砲射撃及艦載機ノ攻撃ヲ受ケタルガ十四日  
十一時 敵ハ小型舟艇一〇ヲ以テ東海岸附  
近ノ上陸點ヲ偵察ス

地區隊將兵ハ敵ノ上陸ヲ豫期シ睥ヲ決シ満ヲ  
持シアリシガ 敵ハ九月十七日九時十分同島ニ  
上陸ヲ開始セリ、詳細後報スルモ地區隊長下

全員決死反撃ヲ實施シツツアリ

二十二時迄ニ於ケル「パラオ」及「ペリリウ」周邊ニ蠢動シタル艦艇ハ左記ノ如ク判断サルレ

A一〇、B四、C七、D約四、丁約四  
(電註以下七語既配布不明分)

其ノ他 W、CH等ヲ認メラル

外ニ「ゴツソル」水道附近ニ依然 Cニ約一〇、丁ニ W及小艇計約三〇ハ依然掃海中ニシテ十一時四十分大型飛行艇ハ著水セルヲ認ム  
尚 CH一ヲ以テ「パラオ」本島東海岸「リ」ヲ

ヲ偵察シツツアリ

三十二時迄ニ於ケル「パラオ」本島及「ゴロ」島ニ對スル敵機ノ來襲ハ必ズシモ熾烈ナラス

四、ペリリウ<sup>ル</sup>地区ニ於テハ其ノ主カハ既ニ飛行場  
北縁ノ線ニ於テ尚激闘ヲ繼續中ニシテ同島  
南部ニハ我ガ約一箇大隊ヲ頑強果敢ニ奮戦  
シアリ

昨十六日十時以降敵ニ與ハツツアル損害甚大  
ニシテ既報ノ外TK約百ヲ擱坐セシム(詳細後  
報ス)

五、現在迄ニ判明セル十二日以降ノ戦果

巡洋艦 一、驅逐艦 一、潜水艦 一、掃海艇 一

艦種不詳 一、車輦沈

舟艇六以上、轟撃手沈 M3<sup>?</sup> 戦車水陸兩用

戦車約一五。以上擱坐

機隊 二六(内不確實五)、撃破七 (終)



特別緊急電報

昭和一九二二  
三月三十一日  
照部隊參謀長

通電先 次長(柏剛) 威(GKF.輝)

眞、尚武

照參電第一五四號

一本三時五分、本島西海面距岸四キロ料ヲ下九  
(吾呂一六〇ノ頓級ニ吃水深シ) Dニ東北進中ヲ認  
メ先七時十分、コスル、東北ヲ反轉、速方ニ三一二三  
節ヲ西南進シ七時五分、コスル、本島アルルコダウ山  
ニ七〇度水平線外ニ没セリ  
(裏へ)

二 七時甲分同西方海面ニ下ニ(五〇〇〇ー六〇〇噸級)レモ吃水淺シ) Dニ現出、東北進、十時四十分コテ東口ニ向ヒツツアリ  
 三 九時甲分頃更ニ西方海面ニ特種艦艇一隻(我が艦)ニ類似ノ現出東北進、儘十時甲分視界外ニ没セリ  
 四 右、比島ノレイテ方面ト密接ニ關聯ナルモト認ム

(終)





電報

報

昭和一九二一  
二二八四發  
九一〇著  
一〇二二  
五〇九  
提出

通電先 次長(小笠原兵團)威剛  
相參電第九九三號

二日十時十分—十一時四十五分  
群島方面ヨリトラック島ニ「B」ニ九型ヲ

含ム大型十數機來襲(雲量大ニシテ全機  
確認困難ナリ)

(1) 三機宛、編隊約六群 三回ニ互リ來襲ス  
(2) 一部燒夷彈投下狀況ニ語不明  
以來ノ事象ナリ

(終)

2249

卯  
十  
九  
年  
久

内  
地

内  
地  
不  
得